

奈良のシカ保護管理計画検討委員会
第13回会議

議 事 要 旨

1. 日 時 令和6年3月25日(月) 14:00～17:00
2. 場 所 奈良県庁第1会議室(オンラインとのハイブリッド)
3. 議 事
 - (1) 新規委員の選任候補者について
 - (2) 令和5年度天然記念物「奈良のシカ」保護管理計画の実施状況
 - (3) 天然記念物「奈良のシカ」保護計画関連事項
 - 天然記念物「奈良のシカ」保護計画 令和5年度実施結果
 - 「奈良のシカ」との人身事故、交通事故の発生状況と対策の実施状況
 - 鹿せんべい以外の給餌実態調査の実施
 - 春日山原始林におけるシカの生息状況調査結果
 - 令和6年度実施方針(案)
 - (4) 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画(第2次)関連事項
 - 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画 令和5年度実施結果
 - 令和4年度設置防鹿柵の効果検証結果と令和5年度防鹿柵設置結果
 - 令和5年度の管理地区(D地区)における捕獲の実施結果
 - 令和5年度モニタリング結果
 - 令和6年度実施方針(案)
 - (5) 鹿苑のあり方等検討関連事項
 - 第1回鹿苑のあり方等検討部会、ワーキンググループ検討結果概要
 - (6) 奈良のシカ保護管理検討委員会と関連する会議の令和6年度開催計画(案)
 - (7) その他

4. 資料

(1) 新規委員選任候補者

- ・資料 1-1 新規委員選任候補者について

(2) 天然記念物「奈良のシカ」保護管理計画の実施状況

- ・資料 2-1 令和5年度の委員会、各ワーキンググループの開催状況
- ・資料 2-2 天然記念物「奈良のシカ」保護管理計画のスケジュール（案）

(3) 天然記念物「奈良のシカ」保護計画関連事項

- ・資料 3-1 天然記念物「奈良のシカ」保護計画 令和5年度実施結果概要
- ・資料 3-2 「奈良のシカ」との人身事故、交通事故の発生状況と対策の実施状況
- ・資料 3-3 「鹿せんべい以外の給餌実態調査の実施
- ・資料 3-4 春日山原始林内シカ生息状況調査結果
- ・資料 3-5 天然記念物「奈良のシカ」保護計画 令和6年度実施方針（案）

(4) 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画関連事項

- ・資料 4-1 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画 令和5年度実施結果概要
- ・資料 4-2 令和5年度防鹿柵設置結果
- ・資料 4-3 令和5年度の管理地区（D地区）における捕獲の実施結果
- ・資料 4-4 令和5年度モニタリング結果
- ・資料 4-5 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）令和6年度実施方針（案）

(5) 鹿苑のあり方等検討関連事項

- ・資料 5-1 鹿苑のあり方等検討部会及びワーキンググループの検討結果

(6) 奈良のシカ保護管理検討委員会と関連する会議の令和6年度開催計画（案）

- ・資料 6-1 奈良のシカ保護管理検討委員会と関連する会議の令和6年度開催計画（案）

- ・参考資料 1 第12回奈良のシカ保護計画検討委員会 議事要旨
- ・参考資料 2 奈良市指導書に対する愛護会の回答
- ・参考資料 3 第1回鹿苑のあり方等検討部会 議事要旨
- ・参考資料 4 「奈良のシカ」の遺伝的独自性に関する研究成果、新聞記事等

5. 出席者

【出席者名簿】敬称略

	氏名	役職名
リーダー	村上 興正	元京都大学大学院理学研究科 講師
検討委員	朝廣 佳子	鹿サポーターズクラブ 会長 (欠席)
(五十音順)	高柳 敦	京都大学大学院農学研究科 准教授
	立澤 史郎	北海道大学大学院文学研究院 特任助教
	鳥居 春己	元京都大学大学院理学研究科 講師 (オンライン)
	松井 淳	奈良教育大学 特任教授
	山崎 伸幸	(一財)奈良の鹿愛護会 事務局長
	渡邊 伸一	奈良教育大学教育学部 教授 (欠席)
オブザーバー	江戸 謙頭	文化庁文化財第二課 文化財調査官 (欠席)
	北野 治	春日大社管理部長
	田中 亜紀	日本獣医生命科学大学獣医学部 特任教授 (欠席)
	中西 康博	(一財)奈良県イジターズビューロー 専務理事 (欠席)
事務局	奈良県 地域デザイン推進局 奈良公園室	
	奈良市 観光経済部 観光戦略課	
県関係課	奈良県 食と農の振興部 農業水産振興課	
	奈良県 文化・教育・くらし創造部 文化財保存課	
	奈良公園事務所	
市関係課	奈良市 観光経済部 農政課	
	奈良市 教育部 文化財課	

6. 議 事 要 旨

(1) 新規委員の選任について

【報告・決定事項】

- 令和6年4月より、田中亜紀（日本獣医生命科学大学 特任教授）を新規委員として推挙する。

【主な意見】

- 特になし

(2) 令和5年度天然記念物「奈良のシカ」保護管理計画の実施状況

【報告・決定事項】

- 鹿苑のあり方等検討部会、鹿苑あり方等検討WGについては、公益通報書の内容や奈良県及び奈良市の調査結果を踏まえ、奈良市からの指導書に対して早急（12月28日期限）に回答する必要があったため、緊急に設置した。また、設置については、今回の検討委員会において追認された。
- 令和6年度は全体構想検討WGを最初に実施し、鹿苑における特別柵、C地区の課題について関連WGで検討する。
- 玉手委員は令和5年12月までの任期のため、退任された。（ただし、DNA解析等に関するヒアリング、意見聴取等は今後も受けて頂く予定。）

【主な意見】

- 緩衝地区（C地区）における農作物被害対策の検討について、他のWGとの関連性や位置づけの整理が必要。
- 保護計画と管理計画は密接に関連していることから、全体構想検討WGが設置されており、保護・管理全体の調整を図るという点で重要。

(3) 天然記念物「奈良のシカ」保護計画関連事項

【報告・決定事項】

- 令和6年度の実施方針について承認された。

【主な意見】

■啓発活動について

- 奈良公園バスターミナルにおける奈良のシカの写真展は好評で、ここでこのような啓発活動は非常に良い取組と思う。常設の場所があってもよい。

■事故対策について

- 交通事故は午後3～6時の間に急増する。飛び出すシカを視認しづらい。活動時間を踏まえた対策が必要である。
- 交通事故について、他府県からの車による事故が起きている。他府県からやってくる人の視点を踏まえて交通事故対策に取り組む必要がある。
- 人身事故について、奈良の鹿愛護会に寄せられる声として「シカがこんなに危険だとは思わなかった」というものがある。シカは相手をよく見ており、自分より弱いと思われる子どもなどに攻撃性を示す。

■その他事項

- 奈良公園におけるシカの生息環境の改善についても検討が必要。
- シカの死亡頭数の件数、野生復帰できなかった数などの統計は保護計画、管理計画両方に必要である。
- 鹿苑については、改修計画を含め、委員間での共有が必要。

(4) 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）関連事項

【報告・決定事項】

- 令和6年度の実施方針について承認された。
- 令和6年度の実施方針にC地区における農作物被害対策の検討を加える。

【主な意見】

- C地区における農作物被害対策の検討に必要となるため、D地区において捕獲したシカについてはマイクロチップの有無を確認したほうがよい。
- 防鹿柵は補修が可能。対策を実施する前に高柳委員に相談してほしい。
- 令和6年度の実施方針において、C地区における捕獲等を含めた農作物被害対策の検討を加えること。

(5) 鹿苑のあり方等検討関連事項

【報告・決定事項】

- 令和6年度、C地区における農作物被害対策の見直しを行い、年度末に方針を確定する。
- 令和6年度、鹿苑の特別柵の具体的なあり方について検討し、年度末に方針を確定する。

【主な意見】

■C地区の保護・管理について

- 鹿苑の設置目的や意義、C地区の扱い方など根本的な議論が必要。野生のシカとしての扱いが重要となる。
- 今まで実施していなかったC地区での捕殺も視野に入れて検討する必要がある。
- 方針としては、捕殺以外の選択肢も整理したうえで、検討が必要。
- C地区は緩衝地区としての機能を果たしていることを前提に、検討する必要がある。
- 鹿苑における終生収容の是非は検討が必要。

[玉手委員の提案]

- 奈良市内のニホンジカの遺伝的集団構造に関する研究結果から、「奈良のシカ」の保護管理では、A・B地区固有の遺伝的特徴をもつ集団を保全し、良好な生息環境を維持するために、外部から移入する個体の管理が重要。特に、A・B地区への市外由来個体の移入を抑え、市外由来個体と保護地区由来個体との間の繁殖を減らすために、C地区での保護管理の在り方は大幅な見直しが必要。天然記念物「奈良のシカ」を、A・B地区で繁殖する固有の遺伝的特徴をもつ地域集団として定義することが望ましい。「奈良のシカ」は局所的絶滅が危惧される状態ではないため、保護地区外に移動した個体を全て保護する必要はない。

■天然記念物「奈良のシカ」としての保護・管理について

- 遺伝子については地域集団として取り扱うことが必要。
- 遺伝子を守るのではなく、シカと人の関係の結果からその遺伝子が残ったわけなので、神鹿との

関係を守ることが重要である。

- そもそもは、天然記念物指定の際に地域を定めず指定され、主な生息地が「奈良市及びその周辺」とされたことに原因がある。
- 奈良のシカは野生であると同時に歴史で作られた個体群である。
- 神鹿を守ること、神鹿の定義が重要。神鹿が人々との共存によっていることから、100年後にも続いていくことが重要かと思う。

■鹿苑における保護・管理について

- 特別柵のシカは4月からは600頭を超え、過密な時期を迎える。
- 特別柵の中にいるシカが繁殖行動もできず、終生収容されることがよいことなのか、何がシカにとって重要なのかを考える必要がある。
- 特別柵に一旦収容したシカを放す選択肢については、放獣後農作物被害を起こしたり、A地区に残っても十分な餌が取れずに人間の餌に頼ってしまう恐れがある。

【これまでの議論を踏まえた今後の方針について】

C地区（緩衝地区）において捕獲された鹿をすべて鹿苑に収容し終生飼養するという方針を変更し、個体によっては駆除又は捕殺することも選択肢に入れ、駆除と農作物被害を防ぐ防鹿柵の設置と組み合わせることなども視野に入れた管理手法を検討していくということについて、各委員の了承が得られた。

（6） 奈良のシカ保護管理検討委員会と関連する会議の令和6年度開催計画

【報告・決定事項】

- 計画案について、承認された。

（7） その他（鹿苑の改修について）

【主な意見】

- 鹿苑の機能、役割は重要。鹿苑のあり方等検討部会、WGの重要なテーマのひとつ。
- 鹿苑の改修について、愛護会の職務に必要な機能に基づく施設を設置するべきと思う。

以上